

子育て を考える

第3回

自然は大人を子どもに 子どもを大人にする

NPO法人 どんぐりネットワーク
副会長 木村 晃子

ドングリランドは、大人にも子どもにも特別な場所です。子どもたちは、その気になってやってきます。保護者の方々もその気になってやってきます。何かを期待してやってきます。そして、毎回期待を裏切らず、事件・発見・感動があります。思わぬモノに遭遇し、意外な事を発見し、美しいシーンに感動します。大人は、童心にかえり、昔を思い出して遊びます。「どやっ!」子どもたちは、また一つ、今までした事のなかった事に出合い、「できたあ〜。」と、ハードルを越えていきます。その満足気な顔に出会うと自分の活動を続けてきて良かったと思います。いつもなら、ズボンに土がついたら、すぐに拭いていたお母さんも森の中では、そんな事は勲章だと気づきます。崖登りで大人の方が泥まみれになったりします。ターザンロープが楽しくて、手を擦りむいたのはお父さん、小刀上手なお爺ちゃんは、僕の自慢の爺ちゃんに変身です。お婆ちゃんは、羽釜で美味しいご飯炊きをしてくれました。子ども時代にお手伝いでしていた事は大人になってもできるのです。自分ができる事をできる人ができない人に教えながら学び合い、その繰り返しをすることで、1人の楽しみがいつの間にか、皆の楽しみになります。

自然を体験する事は、わざわざ出かけていなくても身近にあります。公園の樹1本でも大丈夫、充分楽しめます。毎日ずっと観察してください。新芽が出て葉っぱが大きくなる。花が咲き実をつける。葉っぱが色づき落ちる。虫がついたり、鳥が来たりいろいろなドラマがあります。その木にそっと話しかけてあげてください。その木になったつもりで何かを感じてあげてください。「今日は雨が降って、水をもらえて良かったな」「今日は風が強いから枝が折れちゃったね」等です。公園を横切る時にふといつもの自分の木に話しかけてあげてください。自然をすこ

く身近に感じられます。

また、何かを育てるのも楽しいですね。自然界で無事、成長できるということがどれだけ大変なことなのかを体験できます。日々変身していく虫たちは、人が教えられなかった事を教えてくれます。冬から春のカエルの卵を育てるのも感動です。日々成長し、水中から陸へ上がる体に変身するのです。「どうなっているのだろうか?」と不思議がたくさんわきあがります。家族の共通の話題になって盛り上がるかもしれません。自然の楽しさは、空の上から地面の下まで限りがありません。いつもの生活の中に、今までと違った自然を体験する時間を作って楽しみましょう。少し、あなたの目線が変わるかもしれませんよ。



どんぐりランド
ビジターセンター

住所:高松市西植田町6082-2
TEL:087-840-4072

木村 晃子 (きむら あきこ)

- 1999年 森の文化祭の活動に参加
- 2000年 NPO法人どんぐりネットワーク活動開始
日本自然観察会指導員の資格取得
- 2001年 「この指!と・ま・れ!」の企画で
子どもたちとの森歩き開始
- 現在 NPO法人どんぐりネットワーク副会長
環境省国立公園指導員 香川県森林審議会委員

